

新町・古町 町屋マークデザインワークショップ通信 vol. 4

第1回

新町・古町シンボルマークデザインワークショップ

2014年7月16日 於：五福公民館

●新町・古町マークのアイデア持ち寄り・議論

●先生による指導と有力案の絞り込み

1 各町屋マークの次は、新町・古町それぞれのまち全体のシンボルマークのデザインを行います。各チームはマーク二個(新町・古町それぞれのマーク)を一セットとして案を出し、それらの中から一案が実際のシンボルマークとして採用されるというコンペ形式です。採用された新町・古町マークは、暖簾の柄として使用され、町屋の軒先を飾ることになります。

今回は新町・古町マーク作成ワークショップの前半ということで、古町の五福公民館で各チームのアイデア出しと、方向性の検討が行われました。学生たちはチームごとに分かれて新町・古町についてそれぞれ調べてきた情報を紹介し、そこから自分が考えたシンボルマークのアイデアを見せ合い意見を交換しました。



2 まちのシンボルマークを作るにあたっては、前回までの各町屋のマークとは違い、まち全体について考えなければいけません。扱うものが大きくなった分、情報収集にはより手間がかかります。しかしその一方で、利用できる要素が増えたことでアイデアの幅は前回よりも広がったようです。

3 また新町のマークと古町のマークが二つで一セットになっているというのも、今回のマーク作りの難しさであり、同時におもしろさにもなっているようでした。ときには町屋研究会のメンバーからまちの情報を教えてもらいながら、各班それぞれにアイデアを練っていきます。



4 ある程度マークの方向性が見えてきたら、先生と町屋研究会に案を見てもらってアドバイスを聴き、各チームの有力案を絞っていきます。



5 しかし今回は各町屋のマークにも増しておもしろいアイデアが多く、案を見ているうちに主催者としてもそれらを今ここで絞り込んでしまうのが惜しい…という気持ちが出てきたようです。ということで、町屋研究会の決定で急遽、各チーム三セットまで案を提出してよい！ということになりました。



6 今回、有望なアイデアが多数登場しましたが、これらは次回の発表までにどのように磨き上げられてくるのでしょうか？最終プレゼンへの期待はいやおうなく高まります！